【基本編】

ステップ 5 従属節ー主節+従属節として話をつなぐ

副詞節

4 <i>1</i> 14		-立 43	===			4	4	O
	黒村	妾続	r Api		•	Ш	1	റ

- 1-1 時を表す
- 1-2 原因・理由を表す
- 1-3 条件を表す
- 1-4 譲歩を表す
- 1-5 結果・程度を表す
- 1-6 目的を表す
- 1-7 様態を表す

2 分詞構文 ……123

- 2-1 基本的用法
- 2-2 注意すべき分詞構文
- 2-3 独立分詞構文の慣用表現

3 仮定法 ……125

- 3-1 仮定法過去
- 3-2 仮定法過去完了
- 3-3 慣用的な仮定表現

1 従属接続詞

従属接続詞は「時、原因・理由、条件、譲歩、結果・程度、目的、様態」に分けられます。

英語では、主節+従属節のときもあれば、従属節が先になることもあります。 従属節が先に書き表されるときは、主節の前にコンマを必要とします。

1-1 時を表す

時に 私が 到着する 東京駅に←1、私は 電話をするつもりです 悠太に←2 When I get to Tokyo station, I will call Yuta up.

□ ~する時に/when+S+V~

時に 私が ~電話した 悠太に←1、

彼は <u>すでに</u> ~出発していた 実家を←2

When I called Yuta up, he had already left the parents' house.

□ ~した時に/when+S+V~

私達は \sim 到着した 家に \leftarrow 1、その時に 強い雨が 降り始めた \leftarrow 2 We got to our house, when strong rain has begun to fall. \square \sim 、その時に \nearrow ~、when+S+V~

につれて 太陽が 沈む←1、

私達は ~見ることができなかった 何も 周りに←2

As the sun set, we couldn't see anything around.

□ ~するにつれて/as+S+V~

後に リサが 〜出た 大学を←1、彼女は 〜始めた 仕事を 英語翻訳の←2
After Lisa left college, she started the business of English translation.

□ 〜後に✓after+S+V〜

前に (それは) 暗くなる←1、~言いましょう さよならを 家族の皆さんに←2 Before it gets dark, let's say goodbye to families.

□ ~の前に、~ならないうちに/before+S+V~

まで マリが ~帰る 家に←1、

エリは 待った 彼女を 言うために その結果を←2

Until Mari came home, Eri waited for her to tell the result.

□ ~まで/until+S+V~

とすぐに パートタイムの仕事が 終わる←1、

帰りなさい まっすぐ 家に 子供達のために←2

As soon as the part-time job is over,

go straight home for your children.

□ ~するとすぐに/as soon as+S+V~

たびに 私が ~会う ジョンに そのカフェで←1、

ジョンは ~尋ねる 私に マリの仕事態度について←2

Every time I meet John in the cafe,

John asks me about Mari's job manner.

□ ~するたびに/every time+S+V~

時までには ジョンが 到着する 頂上に 山の $\leftarrow 1$ 、 彼は 疲れ果てていた $\leftarrow 2$ By the time John arrived to the top of the mountain,

he was exhausted.

□ ~する時までには/by the time+S+V~

1-2 原因・理由を表す

から ケンは ~と思う それが 正しい←1、

<u>彼は いつも</u> ~する それを 躊躇することなしに←2

Because Ken thinks it right, he always does it without hesitating.

□ ~だから/because+S+V~

ので 姪は です 非常に忙しい←1、

彼女は 行くことができない 買い物に 叔母と←2

Because my niece is very busy,

she cannot go to shopping with her aunt.

□ ~ので…できない/because+S+V, S+cannot~

ので 妻は 疲れている 徹夜の仕事で←1、

彼女は ~とる方がよい 少し休憩を←2

As my wife is tired of all-night work, she had better take a little rest.

□ ~なので・だから/as+S+V~

から 義理の姉妹が 言う そのように テスト結果について←1、

それは ~ちがいない 本当に←2

Since my sister-in-law says so about the test result, it must be true.

□ ~だから・なので/since+S+V~

いまや~から 悠太は です 大学生←1、

彼は ~稼がなければならない 彼自身の学費を←2

Now that Yuta is a college student,

he must earn his own school expenses.

□ いまや~だから/now that+S+V~

1-3 条件を表す

いったん~すれば 私達は ~横切る 川を←1、

私達は ~伴うだろう 多くの危険を←2

Once we cross the river, we will attend a lot of risks.

□ いったん~すれば/once+S+V~

もし~ならば 雨が 続く 今日一日←1、

不本意ながら 私は とどまるでしょう 家に←2

If rain continues all day today, reluctantly I will stay at home.

□ もし~ならば/if+S+V~

もし~ならば ケンが ~話しかける 悠太に←1、

悠太は ~始めるだろう 話すことを そのことについて←2

Provided Ken talks to Yuta, Yuta will start talking about it.

□ もし~ならば/provided+S+V~(if より強意)

もし~しないならば ケンが 話しかける 悠太に←1、

悠太は 決して話をしない そのことについて←2

Unless Ken talks to Yuta, Yuta never speaks about it.

□ もし~しないならば/unless+S+V~

1-4 譲歩を表す

けれども ジョンは です 若い←1、彼は です 有能な男 ゴルフ界において←2 Though John is young, he is an able man in the golf world.

□ ~けれども/though+S+V~

NOTE: ~にもかかわらず/although+S+V は比較的硬い表現になる

たとえ~でも 私は ~好まない コメディを $\leftarrow 1$ 、

<u>仕方なく 私は</u> ~見るつもりです その映画を ←2

Even though I don't like comedies, unwillingly I will see the movie.

□ ~けれども・たとえ~でも/even though+S+V~

NOTE: though を強調するときは even though を使う

たとえ~としても (それは) かかる (私に) 一年以上 \leftarrow 1、

私は 絶対に ~終えるつもりです その仕事を←2

Even if it takes me over a year, I will absolutely finish the job.

□ たとえ~でも/even if+S+V~

たとえ何が起ころうとも←1、

私達は ~成し遂げます その使命を 人達と共に チームの←2

No matter what happens,

we accomplish the mission with people of the team.

□ たとえ何が~とも/no matter what+V~

1-5 結果・程度を表す

その川は だった とてもきれいな(性質) $\leftarrow 1$ ので $\leftarrow 2$ いた 多くの魚が $\leftarrow 3$ The river was so clean that there were a great number of fishes. \square とても \sim 、なので \sim so+形容詞・副詞+that \sim

悠太は です とても優秀な男 $\leftarrow 1$ ので $\leftarrow 2$ 彼は と呼ばれた 英雄 $\leftarrow 3$ Yuta is such a brilliant man that he is called a hero. \Box とても \sim 、なので \sim such+a(an)+形容詞+名詞+that \sim

1-6 目的を表す

~書き留めなさい 彼の電話番号を <u>ように あなたが ~忘れない それを</u>← Write down his telephone number <u>so that you may not forget it</u>.

□ ~しないように/so that+S+may not (cannot, will not)~

~持っていきなさい 傘を <u>といけないので(それは)雨が降る 夕方に</u>← Take an umbrella with you <u>in case it should rain in the evening</u>. □ ~するといけないので/in case+S+should~

1-7 様態を表す

とおりに あなたが 思う 一番良いと あなたの人生において←1、

あなたは してよい 自由に←2

As you think best in your life, you may do freely.

□ ~するとおりに/as+S+V~

ように あなたが 指摘した**←1**、

仕事は 私達のプロジェクトの です 完全に近い←2

As you have pointed out, the work of our project is near perfection.

□ ~するように/as+S+V~

間は あなたが ~とる 休息を 正午から←1、

あなたは とどまってよい ここに←2

As long as you take a rest from noon, you may stay here.

□ ~する間は/as long as+S+V~

限りでは 私が 知る これまでに←1、あなたは です 勤勉な(性格)←2 As far as I know so far, you are diligent.

□ ~する限りでは/as far as+S+V~

2 分詞構文

前項の従属接続詞において「時、原因・理由、条件、付帯状況」を表すものは、従 属節の主語が主節の主語と同じ場合のみに、従属節の従属接続詞と主語を取り、 動詞を現在分詞に変えることで、従属節が副詞的に用いられる分詞構文になり、 話を簡略化します。

2-1 基本的用法

~聞いているとき クラシック音楽を←1、

私は 聞いた <u>私の名前が 呼ばれる(のを)</u>←2

Listening to the classical music, I heard my name called.

□ 時/~するとき = When I was listening to the classical music,~

 \sim 終えてから 昼食を \leftarrow 1、エリは 出かけた 近くの公園に 散歩のために \leftarrow 2 Finishing lunch, Eri went to the park nearby for a walk.

□ 時/~してから = After Eri finished lunch,~

~もっていたので 多くのことを するための←1、

マリは ~することが出来なかった 宿題を←2

Having a lot of things to do, Mari was unable to do her homework.

□ 原因・理由/~なので = Because Mari had a lot of things to do,~

~乗れば バスに 駅広場で←1、エリは 着くことができる 家に 3時までに←

Taking the bus at the station square,

Eri can get her home by three o'clock.

□ 条件/~すれば = If Eri takes the bus at the station square,~

ジョンは 振った 手を 歩道橋から ほほ笑みながら 明るく← John waved his hand from pedestrian overpass, smiling brightly.

□ 付帯状況/~しながら = ~, as he was smiling brightly.

2-2 注意すべき分詞構文

~終えてしまったので 手伝いを 母の←1、私は ~出かけた 買い物に←2 Having finished help for my mother, I went shopping.

□ 現在完了形/having+過去分詞

~知らないので 何をするかを←1、

私は ~頼んだ ジョンに 助けを 少し前に←2 Not knowing what to do, I asked John for help a while ago.

□ 否定形/not~ing

~決して従わなかったので 私の忠告に←1、リサは 風邪をひいた ついに←2 Never taking my advice, Lisa caught a cold at last.

□ 強い否定形/never~ing

見ると ある離れた位置から←1、その岩が のように見えた ライオンの顔←2 (Being) Seen from a distance, the rock looked like a lion's face.

□ 受動態/being を省略

ほとんどいません 人たちは スキーすることが出来る 手を振りながら← There are few people being able to ski with his hands waiving. □ 付帯状況/with+意味上の主語+現在分詞

2-3 独立分詞構文の慣用表現

率直に言って、私は 思います <u>このゴルフコースは です 難しい(状況)←</u> Frankly speaking, I think <u>this golf course is tricky</u>.

大ざっぱに言うと、90%は 地球の おおわれている 大洋で← Roughly speaking, 90% of the earth is covered by oceans.

厳密に言うと、写真撮影は 禁止されています ここでは← Strictly speaking, photography is forbidden here.

子供たちと言えば、何人の子供を しますか あなたは 持ちたい← Speaking of children, how many children do you want to have?

3 仮定法

直説法は、起こりうる可能性を単に仮定して話が作られ、主節と従属節の動詞の時制には、現在形や未来形が使われます。

仮定法は、現在や過去の事実ではない仮定・想像や実現しがたい願望を表します。

3-1 仮定法過去

仮定法過去は、現在の事実に反する仮定・想像・願望を表し「もし~ならば、・・・だろう」と現在形に訳します。

if 節が過去形で、主節は would, could, should, might+原形動詞になります。但し、if 節のbe動詞の人称はすべてwereになります。

もし~ならば マリが ~持つ 翼を←1、

彼女は 飛んで行くことが出来るだろう 友達のところに←2

If Mari had wings, she could fly to her friends.

□ If+S+過去形, S+助動詞過去+原形動詞

もし~ならば ケンが である 社長 その会社の←1、

彼は 同意するだろう その計画に←2

If Ken were the president of the company, he would agree to the plan.

□ If+S+were, S+助動詞過去+原形動詞

もし~ならば 悠太が ~話すことが出来る スペイン語を←1、

彼は 住むだろう 奥さんと スペインに 定年後←2

If Yuta could speak Spanish,

he would live with his wife in Spain after a retirement age.

□ If 節に助動詞があれば、その助動詞が過去形となる

3-2 仮定法過去完了

仮定法過去完了は、過去の事実と反対の仮定・想像・願望を表し、「もし~だったら、・・・だったろう」と過去形に訳します。

if 節が過去完了形で、**主節**は would, could, should, might+現在完了形になります。

もし~ならば ジョンが ~持っていた 十分なお金を←1、

彼は ~終えることができただろう 大学を←2

If John had had enough money, he could have finished a college.

□ If+S+過去完了, S+助動詞過去+現在完了

もし~ならば 私が ~見つけた 5千円を 通りで←1、

何を だろうか 私は ~した←2

If I had found 5,000 yen on the street, what would I have done?

□ If+S+過去完了, S+助動詞過去+現在完了

もし~ならば ジョンが ~従った 私の忠告に←1、

彼は 迷ってはいないだろう このように 今←2

If John had followed my advice,

he should not be wondering like this now.

□ 仮定の結果が現在に影響している場合/仮定法過去完了,仮定法過去

3-3 慣用的な仮定表現

ならなあ←2、 私が である 天才 金儲けにおいて←1

I wish I were a genius in money-making.

□ 現在の事実と反対の願望/仮定法過去

ならよかった←2、私が ~勉強していた 英語を より一生懸命に 毎日←1 I wish I had studied English harder every day.

□ 過去の事実と反対の願望/仮定法過去完了

どんなに願っているか←2、私が ~会うことができる 悠太に 2~3 日中に←1 How I wish I could see Yuta in a few days.

□ 仮定法過去

あなたは 話をします <u>あたかも~かのように あなたが いる 酔って 酒で</u>← You talk <u>as if you were drunk on liquor</u>.

□ 仮定法過去

あなたは 見えます

<u>あたかも~かのように</u> あなたが 間違いをした 選択に 大学の← You look as if you had made a mistake in the choice of the university.
□ 仮定法過去完了

私は です 忙しい←1、さもなければ~のだが 私は ~行く ゴルフに←2 I'm busy, otherwise I would go to play golf.

□ 仮定法過去

なければ 平等感が←1、

<u>人間関係が 社会における</u> いかないだろう うまく どうしても←2 Without a feeling of equality,

human relations in the society couldn't go well by any means.

□ 仮定法過去

もし~なければ 常識が 日常生活において←1、

どのように だろうか 世界が ~なる←2

If it were not for common sense in everyday life,

what would the world be?

□ 仮定法過去

もし~なかったならば あなたの助けが 事前に←1、

私は 失敗していただろう 契約交渉に←2

If it had not been for your help beforehand,

I would have failed in contract negotiation.

□ 仮定法過去完了